

豊郷町隣保館だより

2021年8月27日発行 豊郷町隣保館 ☎0749-35-0611 No.209

「新型コロナウイルス感染症と人権」
新しい差別・人権侵害は何もない。
までのものが一気にやってきた～



↑定員40名で開催、
間隔をとり、話を聴いて
いただきました。
➡講師の田邊さん。
現状を分かりやすく伝
えてくれました。

講師：田邊九二
湖北じんけんネット

おびたしい差別と人権侵害

- ・感染者への罵声、個人攻撃、プライバシーの暴露が続いている。
- それは家族、友人、関係者、所属先に及ぶ
- 時には、張り紙、落書き、器物破損まで
- ・コロナに関わって数多くのデマが流された。
- ・特定の仕事(医療従事者、介護士、清掃業者、流通業者)への差別がおきた。
- ・特定の国、民族、人種への差別がおきた。

STOP!
コロナ差別
#正しい理解を
#差別はやめよう

「新型コロナウイルス感染症と人権」
新しい差別・人権侵害はひとつもない
今までのものが一気にやってきた

7月29日(木)午後6時30分から、隣保館デイルームで「第1回人権学習講座」を開催しました。

今回は『湖北じんけんネットワーク』の田邊九二彦さんから「コロナウイルスと人権」について大切なお話をしていただきました。感想を抜粋して掲載いたします。

・「コロナ」による差別を身近な人が受け、無知ほど怖いものはないと痛感しました。差別した方はもう忘れていくことでしよう。しかし、された側は傷ついています。心に残ります。ずっと…。何気なく発した言葉！傷ついているかもしれないこと。自分が差別している側に立ってはいないか、考えなくてはいけないと思いました。

・コロナ禍での差別はニュース等で見聞きしていましたが、この度改めてふり返ることができ、差別をなくすために何が大切なのか考えました。シンプルな事ですが、やはり「それってちがう」、「あかん」と言うことが大事であると感じましたし、「ねぎらう」ということも意識しながら生活していければと考えています。

・今、現在コロナで不安な世の中になっています。この不安な人々がふえると必ず差別がうまれてくる。これは、部落差別と同じ根っこである、というところがすごく納得しました。「差別の反対は、尊重である。」心に残る言葉です。今日はありがとうございました！

毎回、感想用紙にご自分の想いや考えを率直に綴っていただき、こちらこそ本当にありがとうございます。

なお、8月19日の第2回講座は、感染症拡大防止のため延期とし、後日改めてご案内させていただきます。